

1 資産の現況等

施設概要	築年：1969（昭和44）年 / 大規模改修：2003（平成15）年 敷地面積：1,396.23㎡ / 延床面積：4,717.32㎡ 施設規模：地下1階 地上7階 併設施設：板橋福祉課、男女平等推進センター(情報資料コーナー等) いたばし暮らしのサポートセンター
建蔽率/容積率	80・60%/400・300%

- 令和7年2月に策定した「旧保健所跡地整備構想・計画（中間のまとめ）」にて、グリーンホールに関する検討の方向性を以下の通り整理した。
 - 健康長寿医療センター・板橋キャンパス跡地の高齢・障がい施設との連携の視点をもって、**高齢・障がい・福祉の総合的・包括的支援拠点**の整備を検討する。
 - **障がい者福祉センター機能、男女平等推進センター機能、板橋福祉課等**の整備を中心に、その他の機能についても適宜検討する。

2 施設再整備で解決すべき課題（抜粋・要約）

グリーンホール

- 施設利用者用の駐輪場不足
- 災害時における避難経路の充実
- ①男女平等推進センター
 - 機能の分散による利用・案内などの非効率性の解消
 - 配置状況の改善による相談環境の充実
 - 団体交流コーナーや情報資料コーナーの充実
- ②いたばし暮らしのサポートセンター・いたばし就労支援コーナー
 - 相談室数の確保をはじめとする相談環境の改善
- ③板橋福祉課
 - 相談に係るプライバシーの確保
 - 個人情報の取り扱いに配慮した執務環境の整備

障がい者福祉センター・障がい者就労支援センター

- 基幹相談支援センター機能の効果的な展開に資する立地改善
- 利用者の「居場所」となるような空間の確保
- 研修やイベント、面接会、余暇活動などに利用できるスペースの確保

情報処理センター

- 利用者の利便性に資する動線などの確保及び施設の老朽化への対応
- ①区民相談室
 - プライバシーやユニバーサルデザインに配慮した相談環境の確保
- ②消費者センター
 - プライバシーに配慮した相談環境の確保
- ③介護保険課認定係
 - 窓口スペースの拡充・書類保管場所の確保
- ④シルバー人材センター・社会福祉協議会
 - 執務スペースの拡充・プライバシーに配慮したフードパントリーの設置

3 施設再整備方針 (案)

(1) 基本的な考え方

- 申請・相談窓口の集約とユニバーサルデザインに配慮した施設再整備により、利用者の利便性向上を実現する。
- 公共施設ファシリティマネジメントの観点から、区が土地を保有し、施設におけるサービス・機能の検討にあたっては、区のみならず、民間との連携も視野に入れ、魅力の創造・サービスの向上を図る。
- 効果的・効率的な業務・事業展開やセキュリティー・プライバシーに配慮した新施設とするため、改築にて施設整備を行う。
- 早期整備の要望及び貸館機能・行政サービスの継続的な提供を実現させるため、仮設施設を確保しながら、機能の仮移転を行う方向性で検討する。

(2) 活用のコンセプト

誰もが安心できる暮らしを支える総合的・包括的支援拠点
～包括支援で実現する、寄り添いと交流の場～

よりそい

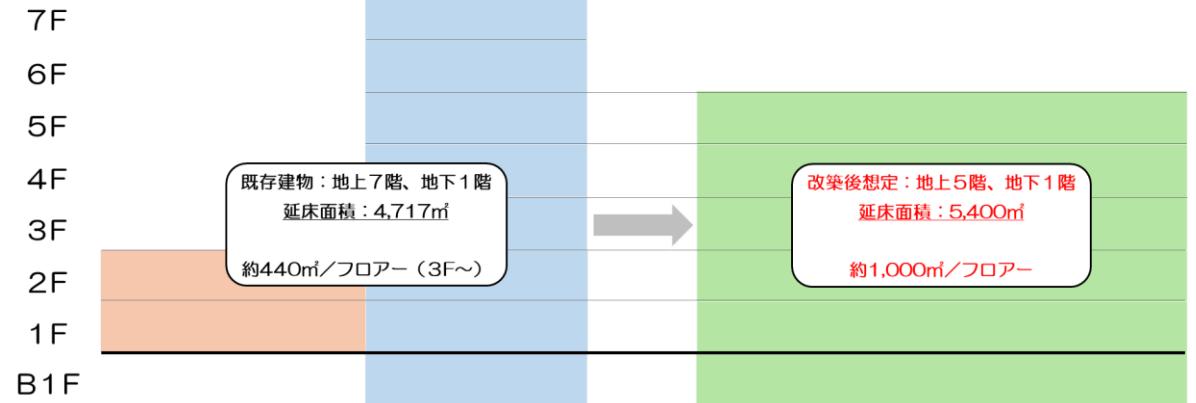
相談機能を充実させ、一貫したサービスの提供。

まじわり

「ありのまま」で過ごすことができる「心地よい居場所」の整備。

つながり

複合的な課題にも切れ目なく対応できる連携体制の実現。



(3) 今後のスケジュール案

- 令和8年2月 区議会報告
- 3月 住民説明会
- 令和8年度（9月）区議会報告：検討状況
- 令和9年度（9月）区議会報告：構想・計画素案
- （2月）区議会報告：中間まとめ
- （2月）区議会報告：構想・計画原案

※適宜、地域・団体・関係機関等との意見交換や住民説明会を開催するほか、区のホームページやSNS・パブリックコメントの実施などを通じた意見募集など広く意見等を伺いながら検討を進めていく。

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度～
方針策定●	整備構想・整備計画策定	設計・工事	